



2013年
4月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園
<http://www.takasago-hoikuen.com>

入園・進級おめでとうございます。
 気象観測上2番目に早かった桜の開花で、
 今年はすでに春気分の4月です。
 子ども達はワクワク・ドキドキの4月です。
 自信をもってスタートしたこの時をとらえ
 「〇〇すると〇〇になっちゃうよ！」ではなく
 「〇〇できるから〇〇になれたのね！」と
 プラスの言葉かけにより自分の力を信じ、い
 ろいろな事に挑戦してほしいですね。
 日本人は元来、節目節目を大切にしてい
 きました。
 この春をひとつの節目とし、入園、進級に
 合わせ子ども達の新しい力が芽吹きますよ
 うに……
 本年度も保護者の皆様のお力添えを頂き、
 子ども達が心地よい生活が
 送れるよう、職員一同心を
 込めて保育に当たります。
 どうぞよろしくお願い申し上げます。



お誕生日おめでとう

1才おめでとう	はやとくん まどかちゃん ひろとくん
2才おめでとう	あゆちゃん みゆちゃん
3才おめでとう	あつしくん たくとくん
4才おめでとう	おうがくん 
5才おめでとう	
6才おめでとう	そらくん くのすけくん

4月の予定		
1	月	入園、進級式
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	防災訓練
6	土	
7	日	
8	月	ちゅっちゅこっこの会★ PPD(ピカピカデ-)
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	防犯訓練
13	土	0, 1, 2オクラス懇談会
14	日	
15	月	乳児誕生会★ ちゅっちゅこっこの会★
16	火	
17	水	照子おばちゃんのお話し会
18	木	
19	金	3, 4, 5オクラス懇談会13:00~
20	土	
21	日	
22	月	ちゅっちゅこっこの会★ 青空保育★
23	火	0才児健診 健康相談の日★
24	水	
25	木	
26	金	幼児誕生会★
27	土	
28	日	
29	祝	昭和の日
30	火	

★印の日は、どなたでもご自由に参加いただけます
 (予定は変更になる場合があります)

うさぎぐみからこんにちは

ばんび組に進級した時は、新しい環境に対しての抵抗感や不安の方が大きかった子ども達でしたが、一年たった今は、うさぎ組への進級を期待し喜びでいっぱいの様子を示しています。

「何組になったのかな？」の問いかけに、両手を頭に持って行きうさぎの耳を作って「うさぎぐみさーん」と答える子ども達、本当にかわいらしい姿です。

生活面に関しても、着替えを進んで行なうようになっていたり、苦手な物も食べてみようとする姿が見られるようになって来ました。大好きな遊びは、ままごとやパズル、電車やミニカーの遊びが中心ですが、そのほかにも「ひとりのぞうさん」のつながり遊びが気に入って行なっています。

歌や踊りが大好きで、今はお散歩に行つて桜を見ても、タンポポを見ても♪さいたーさいたー♪とチューリップの歌を「熱唱」しています。

一つ大きくなった喜びを体全体で表現しているうさぎ組の子ども達です。



「なかよし広場」ってな～に？

0, 1, 2才児の子ども達が、2才児クラスに集まって、地域の方々もお誘いして、集会形式で遊びます。

まずは2才児(うさぎ組)の子ども達による、オープニングです。クラスで行っている歌や、手遊び、わらべ唄などを披露します。

進級したての頃のうさぎ組の子ども達の緊張たるや…背筋がピーンとなっている姿から伝わってきます。

0才児(ひよこ組)の子どもは、午前寝やお食事の時間になってしまったり、会場の雰囲気にもまれてしまう月齢の場合は、負担をかけないよう参加を見送ります。

1才児(ばんび組)の子どもは昨年度から、繰り返し参加しているため、出し物などに興味深く集中して見えています。

職員によるパネルシアター、大型紙芝居などの出し物、たえこおばちゃんによる「わらべ唄」、各クラスの発表、誕生会、等行われます。

こういった小さな集会を重ねることで、うさぎ組の子どもにとっては、人前ではありますが、自クラスで行うことで、負担なく自分を出せ。自信を積み重ねて行き、幼児組さんと共に行う、大きな集会での発表の礎になっています。

入園式が行われました

ひよこ1組に12名、ひよこ2組に6名、ばんび1組に1名の

新入園児の子ども達が仲間入りしました。

どうぞ宜しくお願いいたします。

4月1日に入園、進級式が開催されました。

担任が一人ひとり名前をお呼びすると、保護者に抱えあげられ、参列者に紹介されました。

式に出ていた4才5才の子ども達から「〇〇ちゃ～ん」と名前を呼ばれ、会場が和みました。

子ども達はもちろんの事、保護者の方々が一日も早く、保育園に慣れてくださるよう、互いに挨拶を交し合っいでいきましょう。



これからよろしくね～♪



ぴかぴかの名札を胸に笑顔が輝いています。



「ちゅっちゅこっこの会」ってな～に？

毎週(月)曜日にたえこおばちゃん(兼子耐子氏)に訪問していただき、子どもと職員そして地域の親子の方々と共に、「わらべ唄」を楽しみます。

「わらべ唄」はまだ庶民に文字が広まっていない時代に、人がよりよく生きるための知恵をわらべ唄にこめ親から子へ、そして孫へと代々伝えられてきたものです。コミュニケーションの第一歩である「目と目を合わせる」事ひとつをとっても、わらべ唄では必ず行っていることで、なくてはならない事です。

0才の時は肌と肌が触れ合う遊びで、ぬくもりを感じたり、安心感を与えたり、逆にこちょこちょなどにより神経を刺激します。又、指の名称や体の部位を知ったり、二人組になって行う遊びでは、お互いの気持ちを感じ合い、調整することを知ったり、人との距離感を学びます。まずは、職員やお友達と心から楽しみ、子ども達が生き生きと活動に参加出来る様、心がけています。

たかさごの教育 第1回

昨年度は保育園での「教育」活動全般を、各クラス紹介してまいりました。

保育園は厚生労働省が定める「保育所保育指針」に基づき「養護と教育」を柱に、おおむね6ヶ月未満から、おおむね6才までの年齢毎に、そのねらいと内容が定められています。「教育」は健康・人間関係・環境・言語・表現の5領域に区分されています。

しかし、学校教育の学科のように一つ一つが独立し、特定の活動を示すものではなく、「友達と話し合いながら(人間関係)花の水やりを行う(環境)」等、各項目が相互に働きあい、子どもの育ちとなって行きます。保育園では様々な活動を通して、子ども達がそれぞれの「自分らしさ」を発見し、発揮してほしいと願っています。あらゆる活動は、発達に繋がっていて、発達に繋がらない活動はないと考えております。そこで今年度は、様々な活動の中から「環境」の項目、とりわけ「手先」の活動に焦点をあて、保育園での様子をご紹介したいと思います。